ことわざの 意味 1

やさしい ★☆☆ ・ ことわざの 意味を えらぶ

耳
ことわざ

昔の 人の ちえだよ



なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ ひづけ ＿＿＿ がつ ＿＿＿ にち

1 ことわざの 意味を えらんで、□に 記ごうを 書こう。

㋐ 小さな ものでも、つもれば 大きな ものに なる
㋑ ねうちの 分からない 人に よい 物を あげても むだ
㋒ 見て 楽しむ ものより、役に 立つ ものを 取る
㋓ 急ぐ ときほど、遠回りでも 安全な 方法を とる ほうが よい
㋔ 早起きすると、何か よい ことが ある
㋕ がまんして つづければ、いつか うまく いく
㋖ じょうずな 人でも 失敗する ことが ある

1 さるも 木から 落ちる □
2 急がば 回れ □
3 石の 上にも 三年 □
4 ちりも つもれば 山と なる □
5 ねこに 小判（ばん） □
6 花より だんご □
7 早起きは 三文の 徳 □

できたら はなまる

つぎまる プリント

ことわざ ・ つぎは 「ことわざの 意味 2」

こたえは ここ
つぎの 1まいも

書体: Klee One（SIL Open Font License）

耳
ことわざ

ことわざの 意味 2

ふつう ★★☆ ・ 数や 生き物の ことわざ

場面を
思いうかべよう



なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ ひづけ ＿＿＿ がつ ＿＿＿ にち

1 ことわざの 意味を えらんで、□に 記ごうを 書こう。

㋐ 悪い ことの 上に、さらに 悪い ことが 重なる

㋑ 何回も 聞くより、一度 自分の 目で 見る ほうが よく 分かる

㋒ ふつうの 人でも、三人 集まれば よい 考えが うかぶ

㋓ 一度に 二つの ことを しようと すると、どちらも うまく いかない

㋔ どんなに やさしい 人でも、何度も ひどい ことを されれば おこる

㋕ 子は 親に にる

㋖ 何度 失敗しても、くじけずに 立ち上がる

1 二とを 追う 者は 一とをも 得(え)ず □

2 百聞は 一見に しかず □

3 かえるの 子は かえる □

4 なき面に はち □

5 七転び 八起き □

6 三人 よれば 文殊(じゅ)の ちえ □

7 仏(ほとけ)の 顔も 三度 □

できたら はなまる

つぎまる プリント

ことわざ ・ つぎは 「にた 意味・反対の 意味の ことわざ」

こたえは ここ
つぎの 1まいも

書体: Klee One（SIL Open Font License）

しょうがく4ねんせい ・ こくご ・ k4-55

にた 意味・反対の 意味の ことわざ

ふつう ★★☆ ・ ことわざを 組に する

意味を
くらべよう



なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ ひづけ ＿＿＿ がつ ＿＿＿ にち

1 にた 意味の ことわざを えらんで、□に 記ごうを 書こう。

㋐ かっぱの 川流れ
㋑ のれんに うでおし
㋒ 弱り目に たたり目
㋓ ぶたに 真じゅ

1 さるも 木から 落ちる □
2 ねこに 小判(ばん) □
3 ぬかに くぎ □
4 なき面に はち □

2 反対の 意味の ことわざを えらんで、□に 記ごうを 書こう。

㋐ 急がば 回れ
㋑ 旅の はじは かきすて
㋒ とびが たかを 生む
㋓ 三度目の 正直

1 善(ぜん)は 急げ □
2 二度 ある ことは 三度 ある □
3 かえるの 子は かえる □
4 立つ 鳥 あとを にごさず □

できたら はなまる

つぎまる プリント

ことわざ ・ つぎは 「ことわざを 使おう」

こたえは ここ
つぎの 1まいも

書体: Klee One（SIL Open Font License）

耳
ことわざ

ことわざを 使おう

むずかしい ★★★ ・ 場面に 合う ことわざを えらぶ

どんな ときに 使うかな



なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ ひづけ ＿＿＿＿ がつ ＿＿＿＿ にち

1

つぎの 場面に 合う ことわざに ○を つけよう。

1 毎日 少しずつ ためた お金が、一年で 大きな 金がくに なった。
(ア) ちりも つもれば 山と なる
(イ) 急がば 回れ
(ウ) なき面に はち

2 水泳が とくいな 兄が、プールで おぼれかけた。
(ア) かっぱの 川流れ
(イ) かえるの 子は かえる
(ウ) 花より だんご

3 近道を しようとして 道に まよい、かえって おそく なった。
(ア) 急がば 回れ
(イ) ねこに 小判(ばん)
(ウ) 石の 上にも 三年

4 ころんで けがを した 上に、雨にも ふられた。
(ア) 早起きは 三文の 徳
(イ) なき面に はち
(ウ) 七転び 八起き

5 二回 しっぱいしたが、三回目で やっと 成功した。
(ア) 三度目の 正直
(イ) さるも 木から 落ちる
(ウ) 二度 あることは 三度 ある

6 説明を 何度 聞くより、じっさいに 見たら すぐに 分かった。
(ア) ぬかに くぎ
(イ) かえるの 子は かえる
(ウ) 百聞は 一見に しかず

7 何度 注意しても、弟は まったく 聞き入れない。
(ア) 三人 よれば 文殊(じゅ)の ちえ
(イ) ぬかに くぎ
(ウ) 早起きは 三文の 徳

書体: Klee One（SIL Open Font License）